

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	庁用自動車の使用管理計画・低公害車両化等に関する事務	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	市業務において使用する自動車に関して、低公害車の導入及び使用合理化を推進することによって、窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)等の排出を低減し、もって市内大気環境の保全に寄与する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	庁用自動車	対象とした数	408	台
		実際に 利用した数	408	台

活動の内容	(何を したか)	自動車使用管理計画(自動車NOx・PM法)に基づき、窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)等に関し、低排出車両への買換えや粒子状物質減少装置の装着を行う。							
		①自動車保有課への昨年度使用実績報告の要請 ②自動車使用実績報告の取りまとめ(管理計画の進捗状況を確認) ==> 進捗状況が思わしくない担当課への指導 ③自動車使用実績報告の提出(埼玉県) ④第2期自動車使用管理計画(平成18年～22年)の策定							
活動実績	項目名	低公害車導入台数	99	項目名	低公害車導入率	24.3	項目名		単位
		単位	台		単位	%			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	25	11	3,111	9.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	NOx・PMの削減目標達成率	(NOx削減目標達成率+PM削減目標達成率)÷2	100	56.5	56.5
			単位	%	単位
			%	%	%

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了					
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名 事業コード 050203	庁用自動車の使用管理計画・低公害車両化等に関する事務(自動車NOx・PM法等)	担当 課 環境クリーン部 環境対策課	部課コード 050200	TEL 2998-9230
開始年度 平成 13 年度	終了年度 平成 22 年度	グループ 青空再生		

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針 自動車使用管理計画、所沢市環境基本計画	自動車NOx・PM法、埼玉県生活環境保全条例(自動車対策)
	関連・類似事業 公用自動車管理事業(管財課)	
	総合計画の体系 政策 第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち 施策 5節 環境保全 中柱 1 大気環境の保全 小柱 (1)大気汚染の発生源対策の推進	
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位 実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード 3261 事務事業見直しの推進	
	事業開始の背景 自動車NOx・PM法の改正(平成13年6月)に伴い、一定規模以上の自動車使用事業者(30台以上)に本事務が課せられ、平成14年より自動車使用管理計画書の策定などの事務を開始している。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 市業務において使用する自動車に関して、低公害車の導入及び使用合理化を推進することによって、窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)等の排出を低減し、もって市内大気環境の保全に寄与する。 対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 管理・報告自動車数
	庁用自動車	
	対象数 単位	平成 18 年度 410 台 平成 19 年度 408 台
	利用数 単位	平成 18 年度 410 台 平成 19 年度 408 台
	事業の具体的な内容及び実施方法 自動車使用管理計画(自動車NOx・PM法)に基づき、窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)等に関し、低排出車両への買換えや粒子状物質減少装置の装着を行う。 ①自動車保有課への昨年度使用実績報告の要請 ②自動車使用実績報告の取りまとめ(管理計画の進捗状況を確認)====>進捗状況が思わしくない担当課への指導 ③自動車使用実績報告の提出(埼玉県) ④第2期自動車使用管理計画(平成18年～22年)の策定	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点 第2期自動車使用管理計画(5ヶ年計画)に基づく進捗状況を関係各課に説明し、庁用自動車の適正な運行や代替を推進するよう要請するとともに、関係各課の事務の削減や取りまとめ作業の効率化を図るため、これまで2種類あった調査を統合し、1調査のみとした。

⑤経費	《会計種別》 一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算	16	25	21
	決算(見込み含む)	35	11	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
	正規職員人件費	0.38 人 3,496	0.33 人 3,100	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費			
	事業費合計	3,531	3,111	
	財源内訳			
	一般財源	3,531	3,111	21
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
	その他			
	市民一人当たり(単位:円)	10.5	9.2	
	利用数一単位あたり(単位:円)	8,612.2	7,625.0	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
活動実績	低公害車導入台数		台	70	99		140
	低公害車導入率	低公害車台数/全自動車台数×100	%	17.1	24.3		35.8
成果分析	NOx・PMの削減目標達成率	(NOx削減目標達成率+PM削減目標達成率)/2	%	目標値 100	100	100	100
			%	実績 40	56.5		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率 40.0	56.5		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性		実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)の削減は順調であるが、新たに掲げた二酸化炭素(CO2)の削減目標を達成するには大変難しい状況にある。このため、本要因の原因調査を行う必要がある。			
平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	自動車使用実績報告の取りまとめ(管理計画の進捗状況を確認)	全庁用自動車	平成20年7月末	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	成果指標である窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)の削減率は良好状況にあること、また本事業は大気環境の保全に関する市の率先行動として不可欠な事業である。なお、予算については、引き続き本事業の効率的、効果的運用を図るが、当該事業に係る経費のほとんどが人件費によるものとなっていることから、現状どおりとする。			
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性			
一次評価を受けて	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由 評価日			
評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位 非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度 市長マニフェスト		
	評価理由 評価日			

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	111	311
施策の体系	1-1大気汚染の防止		施策の方向	1-1-1自動車排ガス対策の推進	
	3-1地球温暖化の防止			3-1-1エコ・モビリティの推進	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				